



議会だより



カタリ場 ~南幌高校にて~

第2回 定例会

6月13日

南幌町議会 まちづくり特別委員会を設置

6月定例会は6月13日に開会し、4名の議員が一般質問を行いました。

その後、令和元年度各会計補正予算、条例制定、特別委員会設置など19議案を審議し、いずれも原案のとおり可決・採択し閉会しました。

特別委員会の設置

○南幌町議会まちづくり特別委員会の設置

南幌町の現状と今後のあり方についての総合的な調査研究を行うため、特別委員会を設置するものです。

委員数 10名(議長を除く)
委員長 石川 康弘
任期 令和5年4月26日
まで

令和元年度補正予算

○一般会計補正予算(第1号)

歳入では、主に国庫支出金、南幌工業団地工業用地売払収入等の追加。

歳出では、主に介護保険特別会計繰入金、プレミアム付商品券事業費、感染症予防事業費及び地域振興プレミアム付商品券事業費等の追加によるものです。

可決

○介護保険特別会計補正予算(第1号)

歳入では、主に低所得者保険料軽減基準割合の改正に伴う介護保険料の減額並

びに一般会計繰入金の追加。歳出では、介護保険報酬改定に伴うシステム改修費の追加によるものです。

可決

○病院事業会計補正予算(第1号)

歳出で医師人材紹介手数料の追加によるものです。

可決

条例制定等

○南幌町介護保険条例(改正)

介護保険法等改正のため。

可決

○南幌町スポーツセンター条例(改正)

スポーツセンタートレーニングルームの新設及び会議室廃止のため。

可決

○南幌町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例(改正)

国の家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準改正のため。

可決

○南幌町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例(改正)

国の放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準改正のため。

可決

○町立保育所条例(廃止)

夕張太保育所を廃止するため。

可決

その他

○字の区域の廃止

○北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更

○北海道市町村総合事務組合規約の変更

○北海道市町村職員退職手当組合規約の変更

○放棄した非強制徴収公債権等の報告

○平成30年度南幌町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告

○報告済

○可決

○可決

○可決

○可決

○可決

○可決

意見書

○意見書を採択し、各省庁等へ送付しました。

○日米貿易協定交渉から日本の農業・農村を守る要
望意見書
提出者 本間 秀正議員

○加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書
提出者 熊木 恵子議員

第3回臨時会
5月20日

第3回臨時会は、専決処分2件、条例制定2件、財産の処分1件が提案され、原案のとおり可決しました。

専決処分

○平成30年度南幌町一般会計補正予算(第8号)

歳入では、主に地方消費税交付金、特別交付税、国庫支出金等の最終確定に伴う精査。

歳出では、主に子育て世代住宅建築費助成事業、保

育所等運営補助事業等の減額によるものです。

承認

○町税条例(改正)

地方税法等改正のため。

承認

条例制定等

○町税条例(改正)

地方税法等改正のため。

可決

○国民健康保険税条例(改正)

国民健康保険税の算定における資産割の廃止、及び地方税法等改正のため。

可決

財産の処分

処分の目的
南幌工業団地工業用地分譲処分する財産
宅地

処分の方法
随意契約

処分価格
1億7,000万円

契約先
日立建機日本株

可決

議員研修報告

北海道町村議会議長会主催

全道議員研修会

今年度の研修会は、6月25日札幌コンベンションセンターに全道各地から約1,800名の町村議会議員が参加し盛会に開催されました。



「どうなる？今後の政治」

政治評論家 有馬晴海氏

有馬氏は、安倍内閣は12年前の参院選大敗がトラウマとなっており、憲法改正の是非が最大の懸案であるが、野党は年金問題を取り上げようとしているなど、7月の参院選を控え、政局の動きを詳しく語っていました。日本経済のGDPを500兆円から600兆円に引き上げようにも、少子高齢化で人口減少社会のわが国には、益々厳しい環境にあるなど、政治経済について講演されました。



有馬 晴海氏

「地方は変われるか 議会はどう変わるか、自治体をどう変えるか」

中央大学名誉教授

佐々木信夫氏

佐々木氏は、1都3県の首都圏で、国土面積の3・5%に3,500万人が住んでいる。一方、北海道は20%もある土地に540万人しか住んでいない。日本の人口問題は、極端な大都市偏在と地方過疎の同時進行が続いている。今後100年間で100年前の人口水準に戻っていくなど、過去に類を見ない極めて急激な減少が起きる。

地方交付税は2020年以降には不交付だった東京

にも交付しなければ、高速道路をはじめ50年前に整備した各種のインフラが老朽化し「老いる東京」を維持することができない。これからの地方議会は、チエック機関から立法機関へ変わらなくてはならないなど、日本の将来を案じ地方議会への思いを講演されました。

二人の講演は、内容も魅力的で個人的な指摘が素晴らしい講演でした。



佐々木信夫氏

空知町村議会議長会主催
空知議員研修会

7月12日、奈井江町文化ホールで議会議員、町職員、地域住民を対象として開催され、北海道大学公共政策大学院客員教授 高松泰氏から「地方自治体の防災・減災政策」と題して講演が行われました。



一般質問

問 農業振興計画の整備をどのように考えているか

答 本年度新たに策定します

西股 裕司 議員



西股議員

近年、環太平洋連携協定（TPP）や欧州との経済連携協定（EPA）により、関税の撤廃や削減が予想されます。先行きが不透明との考え方から南幌町農業振興計画は見直しされなかつたと思いますが、南幌町の基幹産業を維持していくためには、農業振興計画を整備していく必要があります。そこで3点伺います。

①何をどのように振興していくのか。

②振興計画の見直しについては、JA等の計画と合わせる必要があると思うが、どのように考えるか。

③生産者数が増えますが減少していくことが予想されるが、その対応策は。

町長

①水稲を中心とした土地利用型農業を確立するため、農産物の安定生産と生産基盤の整備などを検討します。

②関係機関・団体と協議を行い本年度策定します。

また、生産者に向け、振興計画のダイジェスト版配布を検討します。

③ふるさと就農促進給付金事業やスマート農業の推進など、担い手対策の環境整備を継続し取り組みます。

木村 修治 議員



木村議員

千歳川流域の水害対策として造成中の晩翠遊水地は本年度完成予定です。

この遊水地は、きらら街道に隣接し南幌温泉の真向かいでもあり、町では有識者・町民代表者で遊水地活用計画検討委員会を設置して協議を続けてきています。そこで3点伺います。

①検討委員会で効果的の活用についての案は。

②町として晩翠遊水地の活用を現時点でどのように考えているのか。

③遊水地の計画や本年度完成すること知らない町民への説明会、見学会、広報活動の予定、利活用意見聴取機会を設ける考えは。

町長

千歳川流域の遊水地は、本年度中に全て完成予定です。

問 晩翠遊水地の利活用は

答 国と連携を図り検討していきます

工事は進められています。

晩翠遊水地の利活用計画は、町民の代表による遊水地活用計画検討委員会により答申され、内容が整備に反映されるよう、国に要請しています。

①答申では、景観ゾーンなど4つのゾーンに分けるとしていますが、遊水地完成後にどのような状態になるか予測できない部分があり、今後も検討が必要とされています。

②遊水地の周囲堤と遊水地内の管理道路を利用した散策路としての活用等は、堤防整備完成後となるため時間を要します。国と連携を図り状況を確認しながら検討します。

③広報や行政区長会議、南幌町千歳川治水対策促進期成会等で河川整備状況や遊水地の進捗状況を説明していますので、改めて説明会等を開く考えはありません。

その他の質問

問 きらら街道の歩道設置について

町として、温泉に向かう左側歩道の設置、防雪柵の設置や西13号交差点の改良等、抜本的にきらら街道を改修する考えは。

町長

現時点では、難しいが、国や道の政策が変われば、要請していきます。

問 ビューロー隣地店舗進出について

ビューロー隣地の南東部は長年空き地となっているが、土地所有企業との交渉はどのようにしているのか。今後も交渉を続けていくのか。

町長

土地所有企業において、店舗進出計画は凍結されている状況です。町として、新たな情報提供をしながら接触していきます。

問 誘客交流拠点施設整備構想について

答 新たな施策として施設の整備を進めます



熊木 恵子 議員

発想で、巨額の予算となっています。そこで3点伺います。①建設概要総事業費9億2,400万円の財源内訳は。②施設の管理運営体制やラウンディングコストの見込みは。③市民の交流スペースや利用料金の設定、市民の意見をこのように聞いていくのか。

熊木議員

この事業は、町が一体となって取り組む知名度向上や移住促進、各種子育ての支援施策などが効果を上げ、移住者が増加傾向の流れを加速させ、定住人口の増加が期待できる南幌町のシンボルとなるような施設建設を進めていくと説明がありました。

基本構想や基本設計が2019年度となっていますが、十分な検討が必要であり急ぎ過ぎではないでしょうか。「わざわざ南幌町に遊びに行く」というコンセプトが、大型室内遊園地的な

町長

本町を取り巻く環境の大きな変化により多くの人の流れを期待できることから、新たな施策として子育て世代をターゲットに、町内外の利用者が交流できる施設の整備を進めたいと考えています。

①社会資本整備総合交付金などの補助金の活用など、町の負担が最小限となるよう財源確保に向けて調査研究をしており、基本設計完了時に把握できると考えます。②今後基本設計を進める中で、他自治体の類似施設を

参考に検討していきます。③本施設は3つのエリアからなる全体面積9000㎡の複合施設を想定しており、適切な料金設定を考えています。このプロジェクトを進めるにあたり、町民や関係機関から意見をいただきたいと考えています。

その他の質問 国民健康保険税の子ども均等割の軽減について

町長

町独自で軽減する考えはありません。



佐藤 妙子 議員

佐藤議員

南幌町子ども子育て支援事業計画は平成27年にスタートし、家庭や子どもに寄り添った総合的な子育て支援を推進しています。

問 子育て支援の取り組みは

答 国の政策状況を見ながら考えます

子育てのまち南幌町としても時代のニーズに合った取り組みや内容の浸透性など、安心して産み育てられる町へとさらに拡大を進める必要があると感じます。そこで3点伺います。①子育て世代が抱える経済的負担は増加の傾向にあり安心して育児をサポートできる支援が必要と考えることから赤ちゃんの紙おむつ代を助成しては。

児保育や教育無償化等の経済的負担の軽減が図られるため助成の考えはありません。②導入にあたっては必要性の有無を十分に検討します。③支給世帯から好評を得ているため町内で購入できるように農業団体に要請していきます。

その他の質問

住みやすい栄町公営住宅について

空き室が続く原因と空き室解消に向けたこれまでの取り組みと今後の対策は。また、風呂釜と浴槽を町が設置する考えは。

町長

住宅としての機能低下を来たさないう、計画的な修繕や設備の更新を実施し、浴槽設備については検討します。

町長

①1月のアンケート調査からも紙おむつ代の助成ニーズは低く今後、国による幼

平成30年度分

町議会議員の税等納付状況

南幌町議会議員政治倫理条例により、町議会議員の税等の納付状況を公表します。

令和元年6月1日現在

職名	氏名	町道民税	固定資産税	国民健康保険税	軽自動車税	下水道使用料	農業集落排水施設使用料	介護保険料	後期高齢者医療保険料
議長	側瀬 敏彦	○	○	-	-	-	-	○	-
副議長	本間 秀正	○	○	○	○	-	-	-	-
議員 (議席番号順)	川幡 宗宏	○	○	○	○	-	-	○	-
	原田 弘克	○	○	○	-	○	-	-	-
	志賀浦 学	○	○	-	○	○	-	○	-
	内田 恵子	○	-	-	-	-	-	○	-
	西股 裕司	○	-	-	-	-	-	○	-
	佐藤 妙子	○	-	○	-	-	-	-	-
	菅原 文子	○	-	○	-	○	-	-	-
	石川 康弘	○	○	○	○	-	-	-	-
	熊木 恵子	○	-	-	-	-	-	○	-

【表示例】 「○」・・・当該年度に納付すべき額がすべて納付されている場合
「×」・・・当該年度に納付すべき額に未納がある場合
「-」・・・本人に納付義務等がない場合

議会懇談会を ご利用ください

目的

議員が地域の皆様と懇談することにより、議会活動への理解を深めていただくことと、議会の機能強化を目的としています。

実施内容

- 町内の5名以上の小グループや各種団体を対象として実施します。
- 地域における諸課題や議会活動・町政に対する意見を議員が直接伺います。
- 開催に当たりテーマを決め、そのテーマに沿って懇談を進めます。
- 出席議員は開催内容に応じ議長が判断します。

その他

- 通年開催しています。
- 開催場所・時間については各地域の集会所または公共施設等で開催します。懇談時間は2時間以内とします。
- 申込等については、議会事務局へお問い合わせください。

全員協議会

委員会活動

5月7日

○国民健康保険税率について

(住民課)

○南幌工業団地の分譲について

(まちづくり課)

5月20日

○プレミアム付商品券事業について

・全町民対象【町単独】

(産業振興課)

・低所得者、子育て世帯対象【国庫補助】

(保健福祉課)

○風疹の追加的対策について

(保健福祉課)

○介護保険料低所得者軽減について

(保健福祉課)

○第2次南幌町行財政改革実行計画【加速化プラン】について

(まちづくり課)

○誘客交流拠点施設整備構想について

(まちづくり課)

南幌町まちづくり特別委員会

6月13日

○副委員長の選出について

○今後の活動について

6月28日

○議会改革について

総務常任委員会

5月31日

○今後の所管事務調査について

7月5日

○今後の所管事務調査について

産業経済常任委員会

5月29日

○今後の所管事務調査について

7月4日

○現地調査(防風林・保安林・公園・幌向運河)

議会運営委員会

6月6日

○第2回定例会の運営について

賛否の公表

議員の活動に対して町民の評価が的確になされるよう情報の提供に努めるため、議案などに対する各議員の態度を公表します。

令和元年第3回議会臨時会

専決処分、条例制定、財産の処分など8議案について、議長を除く10名全ての議員が賛成しました。

令和元年第2回議会定例会

令和元年度各会計補正予算、条例制定、特別委員会の設置など19議案について、議長を除く10名全ての議員が賛成しました。

※議長は採決に加わっていません。

町政を知る良い機会

議会を傍聴しませんか！ **第3回定例会は9月開催です。**

※本会議の議事録は、役場、あいくる、ふれあい館の情報コーナー、ぼろろ図書室並びにホームページでご覧になれます。

ホームページアドレス
<http://www.town.nanporo.hokkaido.jp/>

私のまち・ひと・しごと



議会だより表紙を紹介します。

北海道南幌高等学校校長 黒田 治氏

「カタリ場」とは、カタリバ北海道（NPO法人いきたす）が運営主体となり、中高生の進路や悩みを対話型のワークショップを通して、人生のきっかけを作り出す「動機付けキャリア学習プログラム」です。

南幌高校では、5月30日4年連続4回目の「カタリ場」を開催いたしました。今回の「まち・ひと・しごと」は、南幌高校で「カタリ場」が導入された経緯、生徒の感想など中心に黒田校長に伺いました。

○「カタリ場」を導入した経緯についてお聞かせ下さい。

生徒の年齢に近い第三者的立場の大学生から心に届くような貴重な話を聞くことにより、他人とのコミュニケーション能力を高めることになるとともに、今後の自分の進路や学校生活のことについて考える良いきっかけ作りになると考え、4年前からスタートしました。

○実際に「カタリ場」の授業を参観してどのように思われましたか。

南幌高校は小規模な学校なので、ひとりの学生に対して生徒は数名程度と少ないので、一人ひとり十分話を聞いてもらえるという他校にないメリットです。「カタリ場」の授業は、生徒が自分を見直すきっかけ作りの機会として効果があるように思えます。4年連続開催できる高校は多分ないと思いますが、高校振興協議会の支援をうけ、大変貴重で贅沢な授業が開催できることに感謝しています。

○生徒からの感想は？

各学年の発達段階に応じて受け止め方は異なりますが、殆どの生徒が大学生の話に「共感できた」、また大学生に「話を聞いてもらえて良かった」と感想を述べています。

○最後に町議会や町に対しての要望等あればお聞かせ下さい。

まずは、これまでの教育活動への様々なご支援に感謝申し上げます。4年後の閉校は決まりましたが、生徒数が少ない状況ですが生徒に寂しい思いをさせたくはないので、高校がある間に町内の方と触れ合う機会を設けて異世代交流を図ったり、地域の方が講師となって生徒に指導していただくなど、接点を持つ事業等の協力をお願いしたいと思っています。

黒田校長は、町や議会からの支援に感謝しつつ、高校が閉校になることは決まっているけれど、学校がある間は地域や異世代との交流も大事にしていかなければならない。勉強を教えるのは学校だけど、町民とふれあう場面を企画していきたいとの思いを聞かせていただきました。私たちもそのような活動に対する呼びかけに協力できればと感じました。

N・H

なんぼろ議会だより

令和元年8月1日 第147号

〒069-0292

空知郡南幌町栄町3丁目2番1号

TEL011-378-2121

発行／南幌町議会

編集／議会広報特別委員会

印刷／(株)総北海

昨年、田植えが終わる頃より半端ない寒さが続き、と書かせていただきましたが、今年も肌寒い日が続く、新年交礼会で来賓の方が今年も似たような年になるのではないかと話されたことを思い出しています。5月に代かきが終わった水面に映る逆さ防風林、夜はまちの灯りが揺らめいて映り、とてもきれいで田植えまでの一瞬ですがとても癒されます。今は稲が成長して水も見えなくなりました。今後農作物が元気に育ち、笑顔で「いただきます」ができるよう豊作をお祈りいたします。

U・K

編集後記